

今日を支える、明日を変える。



株主の皆様へ

2021年度(第127期)第2四半期のご報告
2021年4月1日から2021年9月30日まで

出題者、地球。

SDGsに代表される地球規模の社会課題に対して、
「タキロンシーアイグループは製品で解答(解決)します。」

素材で答える、使命がある。

※2021年度サステナビリティ広告

CONTENTS

- トップメッセージ
- 業績ハイライト/セグメント別の概況
- トピックス① サステナビリティビジョン
- トピックス② 新組織 カーボンニュートラル/DX
- トピックス③ 社会から信頼される企業であるために
- トピックス④ 新技術 セルロース配合コンパウンド
- 「個人投資家向けオンライン会社説明会」開催のご案内
- 株主メモ

タキロンシーアイ株式会社
証券コード 4215

自らの持続的な成長が 社会全体のサステナビリティへ

代表取締役社長

齋藤 一也



事業の概況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～9月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いております。先行きについては、ワクチン接種の普及により景気が回復していくことが期待されます。ただし、国内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による景気の下振れリスクの高まりに引き続き十分注意する必要があると考えます。また、原油価格の高騰により原材料価格は高値を維持しており、販売価格への転嫁を実施しつつも予断を許さない状況です。

このような環境のもと、中期経営計画「変革への決意 Commit to Transformation 2023 (CX2023)」の初年度として「1. 社会課題の解決、2. 新事業・新製品・新技術の獲得、3. ボードレスの加速、4. デジタルの実装、5. グループ経営の再整備、6. 経営基盤の進化」の6つの重点実施項目を設定し、計画達成に向け事業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は704億1千7百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益は47億9千2百万円(前年同期比30.4%増)、経常利益は49億9千8百万円(前年同期比32.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億8千万円(前年同期比66.8%増)となりました。

第3・第4四半期においても厳しい経営環境が続くことが予想されますが、売上拡大と収益のさらなる増大に向けて最大限の努力を重ねていく所存です。

サステナブルな社会の実現に向けて

タキロンシーアイグループは、サステナビリティ活動の指針として2021年9月にタキロンシーアイグループ・サステナビリティビジョン【今日を支える、明日を変える。】を制定しました。

なぜ、「いま」サステナビリティなのか。という問いに対しては、この4月にグループ企業理念を再整理し、新たな長期目標と中期経営計画のもとで次の成長を目指して動き出した「いま」こそ、社会課題解決型企業を標榜してきた当社がサステナビリティについても再構築する時期にあると考えたためです。サステナビリティビジョンはその考え方において最上位に位置するビジョンを示すものであり、根底にあるのは「自らが長期的かつ持続的に成長していくことが、社会全体のサステナビリティにつながる」という想いです。当社グループはこのビジョンのもと、人々の今日の暮らしを支え、明日の暮らしを豊かで快適にするために人と地球の未来にやさしいものづくりの継続を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

タキロンシーアイグループのサステナビリティビジョン

タキロンシーアイグループは、企業メッセージ【今日を支える、明日を変える。】を核とするサステナビリティビジョンを制定しました。



サステナビリティビジョンに基づく具体的な取り組み

事業を通じてサステナビリティビジョンを実現するために、マテリアリティを含むサステナビリティ活動を推進します。

サステナビリティビジョンに基づく取り組みの全体像

具体的な取り組みテーマ

サステナビリティ全般

環境	気候変動
	循環経済
	水
	生物多様性
社会	化学物質
	人材採用・育成
	働き方
	ダイバーシティ
	労働安全衛生
	人権
	サプライチェーンマネジメント
ガバナンス	品質
	情報セキュリティ
	地域コミュニティ
	コンプライアンス
	コーポレート・ガバナンス

マテリアリティ
(重要課題)

サステナビリティ活動

サステナビリティビジョンについては
統合報告書2021にも記載しています
ので、ぜひご覧ください。



アウトカムを起点としたサステナビリティ設計

タキロンシーアイグループの社会への提供価値(アウトカム)を起点として、SDGsとの結びつきを明示しました。



安全・安心

タキロンシーアイのあるべき姿

安心して暮らせる今日を支えるために、安全で信頼できる製品・サービスを安定的に提供し続ける企業

該当するSDGs



快適・心地よさ

タキロンシーアイのあるべき姿

明日の暮らしを豊かで快適に変えるために、技術とアイデアで時代が求める製品・サービスをつくりだす挑戦を行う企業

該当するSDGs

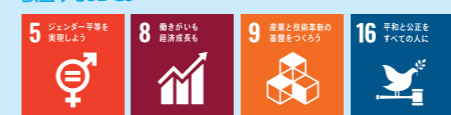


レジリエンス

タキロンシーアイのあるべき姿

社会環境・状況の様々な変化に柔軟に適應するため、常に変革に挑戦し続ける企業

該当するSDGs



環境

タキロンシーアイのあるべき姿

常に地球環境保護をこころがけ、人と地球と未来にやさしいものづくりを行う企業

該当するSDGs

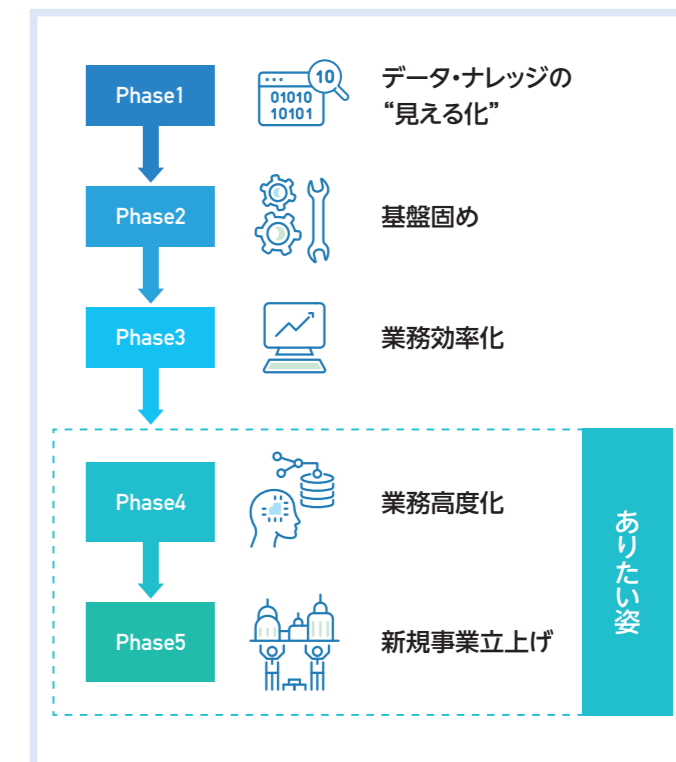


1 DX戦略推進部

Mission | 企業の競争優位性を生み出す

タキロンシーアイグループの「デジタルの実装」の実効性を高めるためにDX戦略の企画・推進および全社包括的立場での指揮・監督を担い、全社の業務高度化に向けたデジタル技術の活用を加速させます。

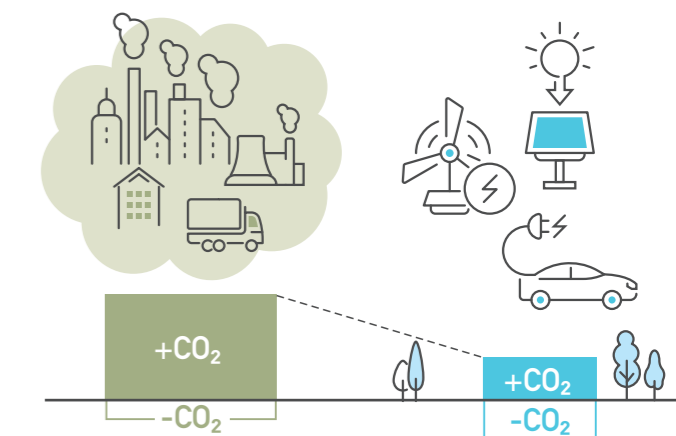
さらに、DX化によりビジネスプロセスの変革と新たなビジネスモデルを創出し、一層の競争力強化を実現させます。



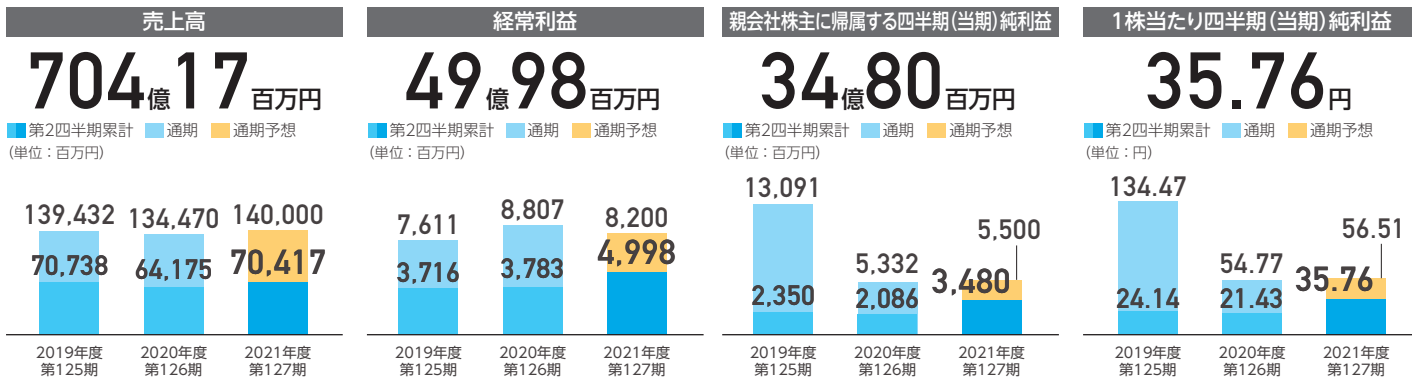
2 カーボンニュートラル推進グループ

Mission | 2050年カーボンニュートラルの実現

2050年カーボンニュートラルへの貢献を念頭にタキロンシーアイグループの脱炭素対応および気候変動対応を中核としたグループ全体の環境シフトを実現するために、その戦略立案、対応策の推進およびそれらのマネジメントの役割を担います。



業績ハイライト



セグメント別の概況 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)

建築資材事業セグメント

(住設建材事業部、床・建築事業部)

- 住設建材事業は、ホームセンター向けで前年の巣籠り需要の反動があったが、新設住宅着工戸数の回復と原材料・物流費の高騰による製品値上げ前の駆け込み需要により増収。
- 床・建築事業の床部門は、コロナ禍の影響により延期されていた物件の受注により増収。
- 建築部門は、国内の建築物件向けはコロナ禍の影響から回復途上にあるが、海外市場では回復が進み伸長。事業全体では大幅増収。

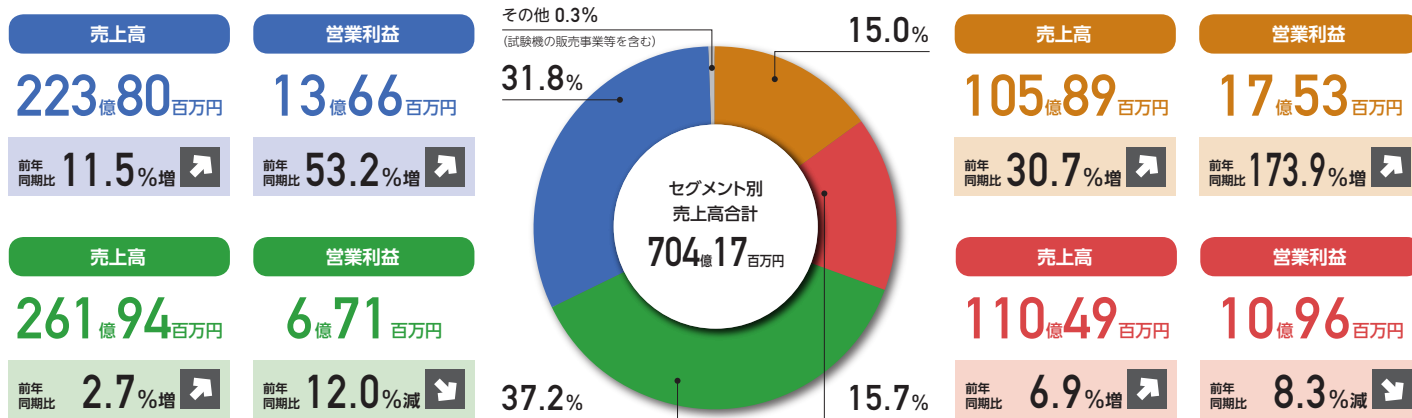
軽量パネル止水板「フラッドセーフライト」

高機能材事業セグメント

(高機能材事業部)

- 高機能材事業は、半導体市場の成長による半導体製造装置メーカーの好業績を背景に、装置向けの工業用プレート、エンブラ材の販売が引き続き高い水準を維持。
- 半導体パッケージ基板用部材向けナノ材料の販売も伸長。
- 世界的に新型コロナワクチン接種が進み、先進国を中心とした消費活動の改善により、眼鏡フレーム用アセテート板の販売が増加。
- 民生用機器向けを中心にマイクロモータの販売が堅調に推移。

レーザ遮へいプレート「タキシャロン」



環境資材事業セグメント

(アグリ事業部、インフラマテリアル事業部)

- アグリ事業は、コロナ禍での買い控えが続いてきた更新需要が回復基調のうえ、大型物件の受注と製品値上げ前の駆け込み需要により増収。
- インフラマテリアル事業は、更生管事業や災害復興需要、ハウエル管の大型物件への販売など堅調に推移があったものの、大型工事物件の計画変更や長期停止、7・8月の豪雨災害などの影響も大きく、全体的に低調となり減収。

高機能農業用塗布型POフィルム「カゲナシ5SS」

機能フィルム事業セグメント

(ボンセット事業部、サンジップ事業部)

- ボンセット事業は、シュリンクフィルムが国内販売および欧米市場において堅調に推移。
- サンジップ事業は、ジッパーテープが日本国内、アジア、欧州を中心に食品、ペットフードおよびアパレル関係で好調に推移し増収。

リサイクル可能なPETボトル用熱収縮フィルム「BONPET RENEW™」

トピックス③ 社会から信頼される企業であるために

1 「JPX日経中小型株指数」に選定

当社は、2020年度に引き続き2021年度「JPX日経中小型株指数」に選定されました。

「JPX日経中小型株指数」は、JPX日経インデックス400で導入された「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とするとのコンセプトを中小型株に適用したもので、定量的な指標によるスコアリングと定性的な要素を勘案することにより当社を含め200銘柄が選定されました。今後も株主・投資家の皆様のご期待にお応えできるよう、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。



2 子育て支援「くるみん認定」を取得

当社は、子育てサポートについて高い水準で取り組んでいる企業として、厚生労働大臣より2021年に「くるみん認定」を受けました。

「くるみん認定」とは、次世代育成支援対策推進法に基づき、従業員の仕事と子育ての両立支援に取り組み、一定の要件を満たした企業を認定する制度です。当社の主な実績としては以下のものがあり、引き続き誰もが生き活きと働ける職場の実現を目指して取り組みを進めてまいります。



主な実績

- 短期間育児休業制度の導入および社内広報、取得対象者に対する個別周知・意向確認(2020年度男性育児取得率:100%)
- 時間単位年休制度の導入
- 計画的な有給休暇の取得の推奨(2020年度有給取得率:88.2%)
- 労働時間管理ガイドラインの策定



3 「健康経営優良法人*2021」に認定

「充実した人生に良質な職場を、充実した人生を会社の成長の源に」との思いから、2019年に経営の中期的な重要施策として「充実人生 経営宣言」を制定しました。その施策の一つである「健康増進支援(健康経営)」の一環として実施した喫煙率を下げる取り組みや、社員の健康意識を高める取り組み等が評価され2020年度に引き続き「健康経営優良法人2021」に認定されました。今後も社員一人ひとりの心と身体の健康がすべての基盤であるとの考えのもと、健康経営を継続してまいります。

*健康経営優良法人認定制度により顕彰される優良な健康経営を実践している法人



トピックス④ 新技術

セルロース(天然繊維)配合コンパウンド

容器包装リサイクル法で紙製と認められるセルロースコンパウンドの開発を進めています。特殊混練により、天然繊維であるセルロースを51%以上配合したオレフィン系樹脂のコンパウンドで、製品への「紙マーク」表記が可能になります。

通常のオレフィン系樹脂とほぼ同等の物性をもちながら、強度・耐熱性の点ではオレフィン系樹脂に勝ります。さらに、精密異形押出成形が可能で、社会やお客様の多様なニーズに合わせ、流動特性を含め設計が可能素材です。

石油由来樹脂の使用量を低減することでCO₂排出量削減に貢献し、人と地球にやさしい未来の実現を目指してまいります。



セルロースコンパウンド



新技術を活用したジッパーテープ
(2021年度中に製品化予定)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (受付時間9:00~17:00、土・日・祝日を除く。)
取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
単元株式数	100株
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ
公告方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社オフィシャルホームページアドレス https://www.takiron-ci.co.jp

「個人投資家向けオンライン会社説明会」開催のご案内

個人投資家の皆様を対象としたオンライン会社説明会を開催いたします。当社の経営戦略やこれからの展望についてわかりやすくご説明し、当社への理解を深めていただくとともに、より良い信頼関係の構築に努めてまいります。

● 日時：2022年1月14日(金) 20:00~21:00

*詳細は、当社ウェブサイトIR情報に掲載いたしますので、ぜひご覧ください。(12月掲載予定)

<https://www.takiron-ci.co.jp/ir/news.php>



常務執行役員 経営企画本部長
兼 循環適応型素材事業推進担当
玉木 敬夫



〒108-6031 東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)
TEL (03)6711-3718

